

令和 6 年 3 月  
東京三協信用金庫

## 東京都が発行する「東京ソーシャルボンド」への投資について

東京三協信用金庫(理事長:中島久喜、以下当金庫)は、「東京都」が発行する「東京ソーシャルボンド<sup>※</sup>」への投資を実施いたしました。

東京ソーシャルボンド発行による調達資金は、社会的に支援が必要な人々を対象とする東京都の事業に充当され、今回債では、「公共施設・インフラの防災対策／老朽化対策」、「産業の振興と雇用の維持・創出」、「一人ひとりの個性や能力を最大限に伸ばすための教育環境の整備」、「介護サービス基盤の整備」、「児童福祉施設等の設備」、「住宅セーフティネットの強化」、「公共施設のバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化」等に充当される予定です。

事業の実施においては、明確なルールのもと、透明性・公正性を確保しており、投資された資金の使途やその成果を確認することができます。

当金庫は、新宿区に本店を置き、東京都を営業区域としております。本ソーシャルボンドへの投資が地域社会および地域の皆さまの発展に繋がっていくことを期待し、投資を決定いたしました。

今後も、当金庫はその公共性・公益性に鑑み、持続可能な社会の形成に向けた社会的責任を果たしていきたいと考えております。

※ ソーシャルボンドは、社会的課題解決に要する資金を調達するために発行する債券です。「東京ソーシャルボンド」は、国際資本市場協会(ICMA)が定義する「ソーシャルボンド」の特性に従った債券である旨、セカンド・パーティー・オピニオンを取得しています。



この街との“つながり”が誇りです